

第2章 ファイルの作成

Web応用

第13回 GPSを使った位置情報の取得

第2章

ファイルの作成

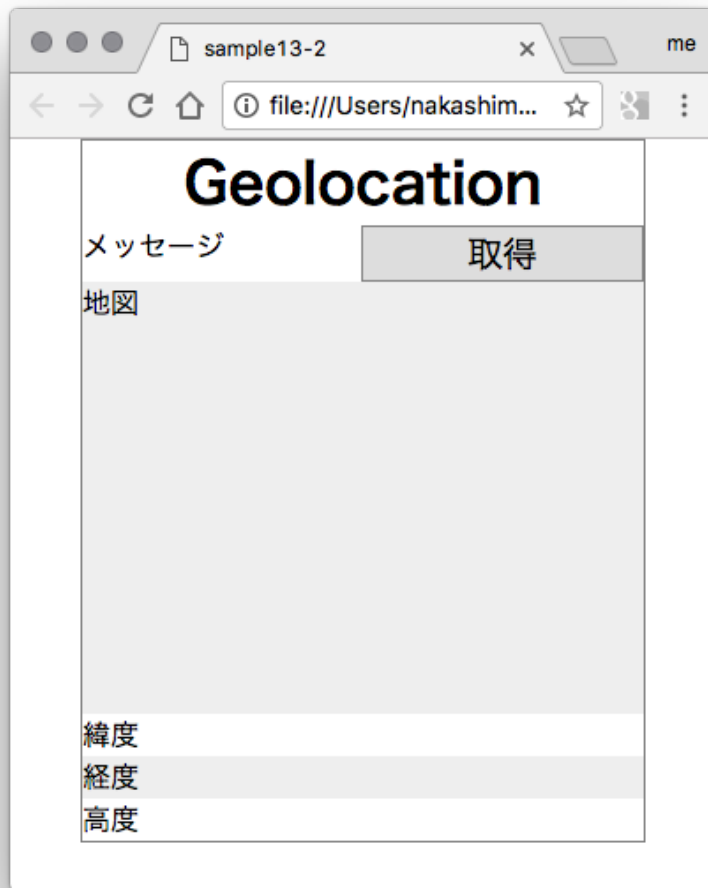
第2章 学習目標

位置情報を取得するためのスマホ向けファイルの作成について理解できる。

1. ファイルを用意

それでは、まずベースとなるHTMLファイルとCSSファイルを用意しておきましょう。

この章での完成イメージは次の通りです。



1. HTMLファイルを準備する

ファイル名は「sample13-2.html」です。

スマートフォン向けにするためにviewport(表示領域)に横幅を指定しています。

```
<meta name="viewport" content="width=322">
```

表示領域は指定しないと横幅960pxとして表示するので文字が小さく表示されてしまいます。それを防ぐためviewport(表示領域)の情報(meta)で、横幅(width)を指定します。

Web入門では、widthの値に「device-width(端末装置の幅)」を指定しましたが、このように固定の値(322px)を指定することもできます。

そうすると、端末にかかわらず表示領域の横幅を320pxとして表示します。

■ サンプル

```

1  <!DOCTYPE html>
2  <html>
3    <head>
4      <meta charset="utf-8">
5      <title>sample13-1</title>
6      <meta name="viewport" content="width=322">
7      <link rel="stylesheet" href="sample13-2.css">
8      <!-- Google Map API -->
9
10   </head>
11   <body>
12     <div id="wrap">
13       <h1>Geolocation</h1>
14
15       <!-- 情報表示部分 -->
16
17
18     </div>
19
20     <script>
21       //① 使用できるかのチェック
22
23       //② Android用オプション値
24
25       //③ 取得関数起動
26
27       //④ 成功したときの関数
28       function seiko(position){
29         //④-1 値を取得
30
31         //④-2 値を表示
32
33         //④-3 地図を描画
34
35         //④-4 マーカを表示
36
37       }
38
39       //⑤ 失敗
40
41
42     </script>
43   </body>
44 </html>

```

2. CSSファイルを準備する

今回は外部CSSとし、ファイル名は「sample13-2.css」です。

必ず「HTMLファイルと同じディレクトリ」にCSSファイルも存在しなければなりませんので注意してください。

CSSの内容については割愛しますが、興味があれば、各自で調べてみるとより学びが深まります。

■ サンプル

```
1  *{
2    margin:0;padding:0;
3    box-sizing:border-box;
4  }
5
6  #wrap{
7    margin:0 auto;
8    width:320px;
9    border:1px solid gray;
10   background-color:white;
11  }
12
13  h1{text-align:center;}
14
15  .flex{display:flex;}
16  .flex>*{flex:1;}
17
18  button{
19    width:100%;
20    font-size:20px;
21    border:1px solid gray;
22    background-color:#ddd;
23  }
24
25  ul{list-style:none;}
26  li:nth-of-type(odd){background-color:#eee;}
27
28  #chizu{width:318px; height:245px;}
```

2. HTML要素を記述

1. HTML要素を記述

HTML要素を記述しましょう。

「取得」ボタンをクリックすると、関数「getMap()」が起動します。
第3章の演習により、「緯度」「経度」「高度」に値が入ります。
「地図」には第4章で学ぶGoogle Mapが表示されます。

■ サンプル

```

15 <!-- 情報表示部分 -->
16 <div class="flex">
17   <div id="msg">メッセージ</div>
18   <button onclick="getMap();">取得</button>
19 </div>
20
21 <ul>
22   <li id="chizu">地図</li>
23   <li id="ido">緯度</li>
24   <li id="keido">経度</li>
25   <li id="kodo">高度</li>
26 </ul>

```

補足

- id「msg」のdiv要素には、位置情報を使用できるかどうかのメッセージを表示する。
- 高度センサのないPCでは高度は「null」と表示される。

練習問題1

問題

【クイズ】 択一選択（即解答表示）

次のコードの「width」は、何を322pxとして指定していますか。

```
<meta name="viewport" content="width=322">
```

- ☐ 表示領域の幅
- ☐ 端末の幅
- ☐ PCの画面の幅

練習問題1の解説

正解は

表示領域の幅

です。

表示領域の幅を322pxとして、文字の大きさが小さくなるのを防ぎます。

第2章 まとめ

位置情報を取得するためのスマホ向けファイルの作成について理解できた。

第2章 終わり

Web応用

第13回 GPSを使った位置情報の取得

第2章

ファイルの作成

終わり

© Cyber University Inc.